

フェンス

フリーポールタイプ

取付説明書

- このたびは、当社製品をお買いあげいただきましてまことにありがとうございます。
- この取付説明書に示した表示記号の内容は、製品を安全に正しく施工していただき、施主様等の危害や損害を未然に防止するためのものです。
表示記号の内容を良く理解したうえで、本書の内容（指示）にしたがってください。
- この取付説明書では、次のような記号を使用しています。

安全に関する記号 記号の意味


警告

- 取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負うおそれのある内容を示しています。


注意

- 取扱いを誤った場合に、使用者が中・軽傷を負うおそれのある内容、または物的損害のおそれがある内容を示しています。

一般情報に関する記号


ポイント

- 取付手順で、特に注意して作業をしていただきたいことを示しています。
- 守っていただかないと組付けができない内容、または製品全体に後々不具合が発生するおそれのある内容を示しています。



- 取付説明の内容全体（個々の説明枠）にかかる注意事項を示しています。
- 取付説明の内容に制限がある場合の条件を示しています。


補足

- 説明の内容で知っておくと便利なことを示しています。

<施工の前に>


警告

- フェンスは隣地との境界を示す目的で設置するものです。転落防止を目的とした防護柵や歩行補助を目的とした手すりとしては使用しないでください。


注意

- 商品の施工には、危険を伴う場合がありますので、必ず専門の工事業者による施工をお願いします。
- 正しく施工、組付けをするために、施工前に必ず取付説明書をお読みください。
- ブロックに施工する場合は、JIS A 5406 の区分16（C種）以上で施工してください。
- 製品の施工については、必ず取付説明書にしたがってください。
- 施工終了後、取扱説明書は施主様にお渡しください。

<施工上のご注意>


注意

- 現場でブラケットや継手を組付け・締結する場合は、施工後に締結具合を必ず確認してください。締結不良は風による破損・飛散事故の原因になります。
- 柱と本体ジョイント部の間隔は300mm以内に施工してください。それ以上離れると製品強度が維持できなくなります。


<基礎工事について>


注意

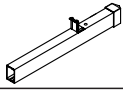
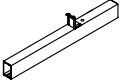
- コンクリート（またはモルタル）には、塩分を含む砂（海砂）および塩素系や強アルカリ系のコンクリート用混和剤（凍結防止剤、凝固促進剤、急結剤など）は使用しないでください。使用するとアルミなどの金属が腐食する原因になります。必要な場合は、非塩素系や非アルカリ系の混和剤をご使用ください。

■梱包明細表




1 フェンス

名称	略図	員数
フェンス本体		1






2 支柱

名称	略図	員数
支柱 (T-6A,T-8A,T-12A)		1
支柱 (T-8B,T-10B,T-10C)		1

3 部品セットA

名称	略図	員数
上ブラケットA		1
上栈ストレートジョイントA		1
下栈ストレートジョイントA		1
3-① φ4×12トラスタッピン ネジ3種 D=8		1
3-② φ4×10トラスタッピン ネジ1種 D=8		4




4 部品セットB

名称	略図	員数
上ブラケットB		1
上栈ストレートジョイントB		1
下栈ストレートジョイントB		1
4-① φ4×12トラスタッピン ネジ3種 D=8		1
4-② φ4×10トラスタッピン ネジ1種 D=8		4




5 部品セットC

名称	略図	員数
上ブラケットC		1
上栈ストレートジョイントC		1
下栈ストレートジョイントC		1
5-① φ4×12トラスタッピン ネジ3種 D=8		1
5-② φ4×10トラスタッピン ネジ1種 D=8		4




6 端部キャップA

名称	略図	員数
上栈端部キャップA		2
下栈端部キャップA		2
6-① φ4×10トラスタッピン ネジ1種 D=8		4
取付説明書	—	1
取扱説明書	—	1
注意シール	—	1

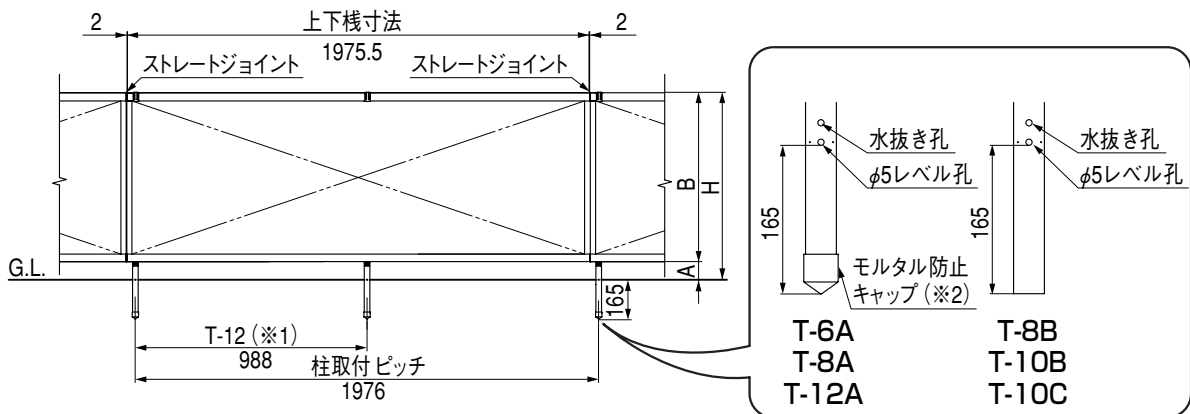
7 端部キャップB

名称	略図	員数
上栈端部キャップB		2
下栈端部キャップB		2
7-① φ4×10トラスタッピン ネジ1種 D=8		4
取付説明書	—	1
取扱説明書	—	1
注意シール	—	1

8 端部キャップC

名称	略図	員数
上栈端部キャップC		2
下栈端部キャップC		2
8-① φ4×10トラスタッピン ネジ1種 D=8		4
取付説明書	—	1
取扱説明書	—	1
注意シール	—	1

1. 基本寸法図



部品セット、端部キャップ対応表

タイプ	対応するフェンス
A	プリレオR1・3・5～9・13型 ハイミレーヌR6型,アルメッシュ1・2型
B	プリレオR2・4型 ハイミレーヌR4・5型
C	シャレオR1～12型・P型

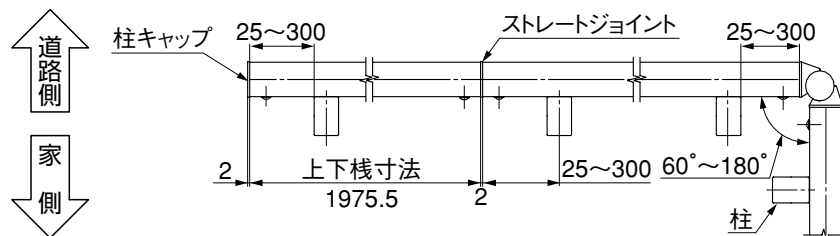
サイズ	H	A(※3)	B
T- 6	600	60	540
T- 8	800	80	720
T-10	1000	80	920
T-12	1200	80	1120

補足

- T-12では全ての柱取付けピッチが988mm以内になります。(※1)
- T-6A、8A、12Aはモルタル防止キャップが付いています。(※2)
- T-8B、10B、10Cは柱補強材が入っています。
- 下棧すき間カバーを取付ける場合にはA(※3)寸法の±7mm以内で納めてください。

ポイント

- 各柱のレベル孔は水平にそろえてください。水平にそろっていないとフェンスの連結ができなかったり、上ブラケットが取付けられなく場合があります。



注意

- 柱ピッチが988mm以内で施工の指示があるものは必ず、988mm以内で施工してください。これらの機種は風圧を受けやすいので風による飛散事故が起きるおそれがあります。
- コーナー部には風が集中するため必ず柱を2本建施工してください。
- アルミ多段柱コーナー部の独立基礎において、指定基礎寸法「アルミ多段柱(C327)」(取付説明書内表記)を考慮した大きさに設定してください。

2. 本体の取付け

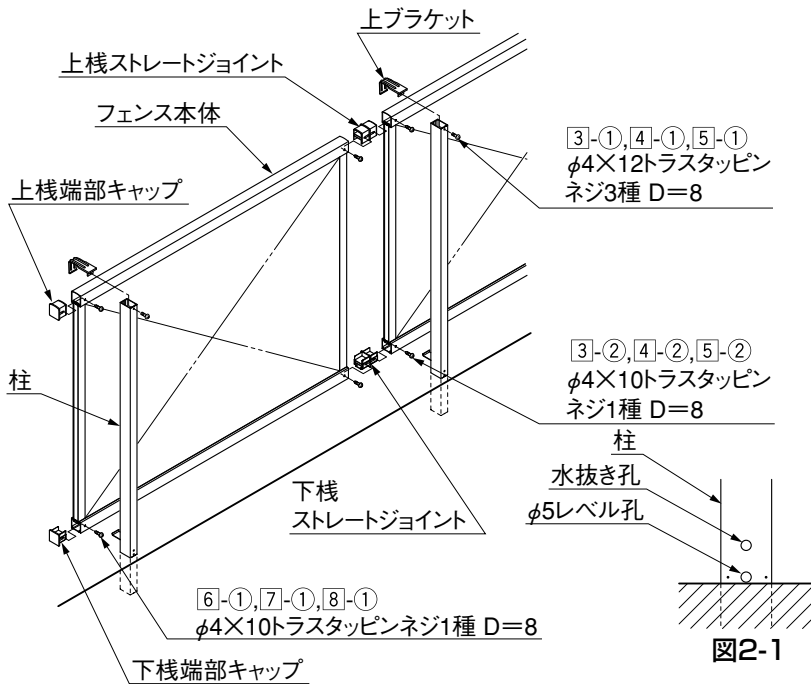


図2-1

ポイント

- 柱ピッチは「1.基本寸法図」の表記にしたがってください。柱の底部についているモルタル防止キャップ(テープ含)や柱補強材を外さないでください。
- 各柱のレベル孔は水平にそろえて取付けてください。(図2-1参照)
- 柱埋込み時には水抜き孔を塞がないように施工してください。柱の腐食が促進されるだけでなく溜まった水が凍結し、破裂するおそれがあります。
- 柱の内部にモルタルを詰めたりしないでください。

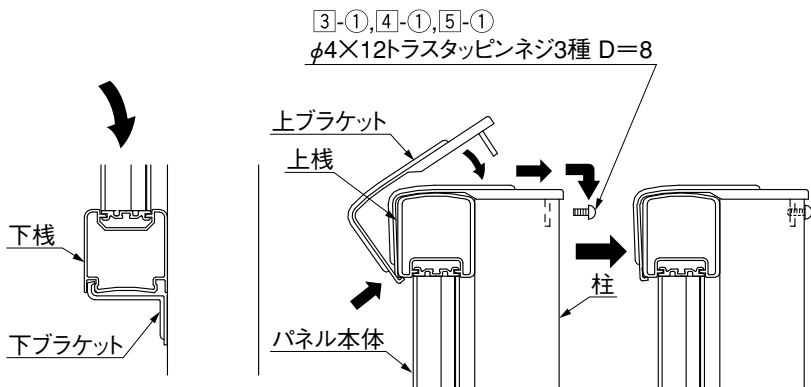


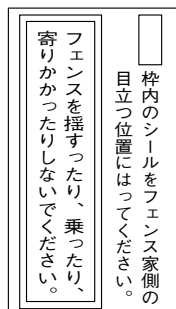
図2-2

図2-3

図2-4

- ① 下栈は、下 Bracket に押込んでしっかりと取付けてください。(図2-2参照)
- ② 上 Bracket は上栈の端に引っかけた後、柱側に引きよせて柱にかぶせ、上 Bracket の止め孔と柱の止め孔をあわせて3-1、4-1、5-1を仮止めしてください。(図2-3参照)
- ③ 上 Bracket の矢印の部分を押さえて3-1、4-1、5-1をしっかり締めてください。(図2-4参照)

3. 注意シールの貼付け



ポイント

- 必ず左記シールをフェンス家側の目立つ位置に貼ってください。
- 注意シールは、端部キャップまたは端柱の梱包に入っています。

取説コード

C286

QBR572238H
200208A_1007
201607_1049